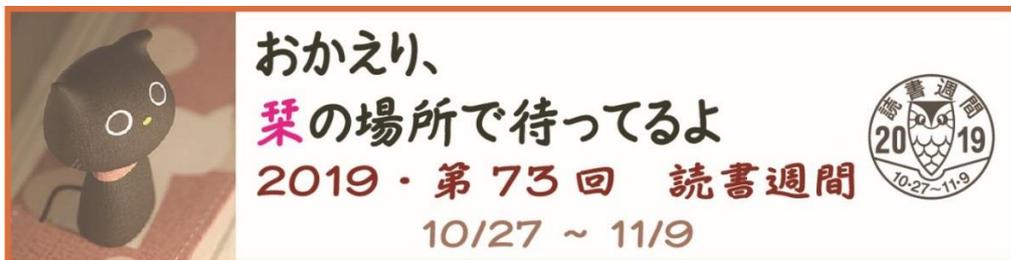


香寺図書通信

第4号 2019.10.27



10月27日から読書週間はじまる

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られたりしました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらえ、きっかけとなることを願っています。

読書推進運動協議会HPより

後期図書委員の活動はじまる

令和元年度後期図書委員長は2年2組の山本亜唯菜さんです。副委員長は2年4組野畑向日葵さん、書記は2年1組高見遥菜さんです。図書委員は、生徒のみなさんが利用しやすい図書室にするため、利用者をサポートをします。また、今後は図書通信の記事を自分たちで書いて発行します。

話題の図書



空飛ぶタイヤ

この話は走行中のトレーラーから外れたタイヤが通りがかりの母子を襲ったことから始まります。外れたのは整備不良かそれとも。

容疑者となった運送会社の社長が事故の真相に迫り、大企業の不正を暴くスリリングな作品です。